

御 礼

第24回参議院議員選挙については、昨日投開票が行なわれた結果、山形県選挙区『舟山やすえ』候補が、34万4,356票を獲得し、当選を果たした。

一方、比例代表は、極めて厳しい戦いの中、各産別が推薦・支持する候補8人が当選したものの4人が惜敗した。

民進党をはじめとする野党は、経済政策「アベノミクス」の是非をはじめ、社会保障政策、安保・憲法改正などを争点に選挙戦が繰り広げ、「安倍政権の暴走に歯止めをかける極めて重要な戦い」と危機感を訴えてきたが、争点隠しによる論議がかみ合わなかったことに加え、選挙戦を通じた非自民の声を結集することができず、総じて野党の候補が大苦戦する状況が最終盤まで続いた。

その結果、民進党は改選議席43議席から大幅に減らし、32議席を確保するまでにとどまるとともに、民進党をはじめとする反改憲勢力が改選議席54議席から44議席まで落ち込み、惨敗を喫した。これにより改憲勢力は参議院で3分の2の議席を確保した。

こうした中、連合山形が推薦する『舟山やすえ』候補は、各産別単組、退職者、支援組織が一体となり懸命な取り組みを展開し、最後まで全力で戦い抜いた結果、各地域での地道な活動の積み上げにより着実に支持の裾野を広げ、当選を勝ち取ることができた。

連合山形は、選挙情勢が極めて厳しい中、今次参議院議員選挙に結集し、集中した取り組みを展開し、支援・協力をいただいた全ての組合員・退職者とその家族、支持者の皆さんに対し、深く感謝の意を表するとともに、各地区選対を軸に全力を傾注していただいた各構成組織の役職員に深甚の敬意を表するものである。

そして、今回の選挙結果を厳粛に受け止めるとともに、私たちの雇用に直結する雇用・労働政策の実現はもとより、勤労者・納税者・生活者の立場に立った政策を推進する観点から、引き続き、政治活動を強化していくこととする。

2016年7月11日
日本労働組合総連合会山形県連合会
会長 岡田 新一